



令和5年11月30日 12月号

横浜市立稲荷台小学校

まずは、やってみる

副校長 平本 美峰

あんなに暑かった残暑から一転、もうすっかり冬のような寒さです。朝の空気は澄んでいて 3階の窓からは白い雪を被った美しい富士山の姿を見ることができます。一日のパワーが湧い てくる瞬間です。

さて、一年の締めくくりに当たり、今年の流行語や漢字などが聞かれる時期となりました。 もし今年の話題の人を尋ねられたら、私は『大谷翔平選手』を挙げたいと思います。MLBや WBCでの活躍は記憶に鮮明に残っていることと思います。大谷選手は、技術のすばらしさだ

大谷シート

April 7	100	716 7045		***	***	***	6-14 111	";;"
***	****	,ma	2777A		:::	****	**	77
****	***	=	7.		27.00 27.00 27.00	\mathcal{Z}	777	100
38	75.7	10.000 +0.000	****	20+01-0	160	*****	10000	****
-12-				222	50-10 100000	-	##	**:
	***	.m.			***	777	915- 515- 5-4	1000
**	*:;;	***	***	2180	*****	1	127	141
	189		.223.		****	222	***	-500
**		***	*****	12111	****	444	Bet.	1717

けでなく、その人間性や人柄の温かさについてのエピソードがたくさん聞かれます。彼は、高校1年生のとき自分の夢を達成するために8つの目標を設定し、さらにそれを成し遂げるための具体的な行動や事柄(大谷シート)を書き出しました。私が注目したい点は、人間性という項目です。大谷選手は、最後に勝敗を決めるのは、人間性といった微妙なものだと考えています。特に人間性は、人の一生に関わるもので大事にしているそうです。人間性を磨くためにしていること、それはゴミ拾いです。落ちているゴミは簡単に見過ごせますが、大谷選手は拾います。要は正しいことをやるかやらないかです。人は楽しいことに流れがちですが、自分を律して正しいことをやり続けるところ

に大谷選手の強さとやさしさがあるのだと思います。

先日、3年生の遠足で素敵な場面に遇いました。その日は、渋滞のため到着が遅くなり、楽しみにしていたイルカショーの会場は人で溢れていました。当然立ち見ですし、見える場所を苦労して探しました。開演時間が近づいたころでした。遅く到着した園児が子どもたちの後ろに並んでいることに気づきました。すると「前にどうぞ。」と自分の場所を譲る3年生が現れました。それを見ていた他の子どもたちも前に行くように園児に勧めます。子どもたちの他者を思いやる行動は美しく、自分でよいと思ったことを進んでやった子どもも、それを見て親切を広めた子どもたちも本当にすばらしく、私は感動しました。校外学習の場で自然に行動に移すことができるのは、日ごろから少なからず意識しているからではないでしょうか。3年生の行動を見て、何事も「まずは、やってみる」から始まるのだと改めて教えられました。人が喜ぶことや安心すると考えたことをやってみて、うまくいったらまたやればよいし、そうでなければ改善してやってみる、それを繰り返すことで人間性が磨かれます。人を不快にするのではなく、安心できる温かい環境をつくる努力をしていくことで、互いが大きく成長できるのだろうと思います。稲荷台小の子どもたちがやってみようという思いを実践できるよう教職員全体で支援していきたいと思います。

先日の授業参観と歌声発表会には、たくさんの保護者の方にご来校いただきました。午後に開催された稲荷台フェスティバルも大盛況でした。PTA役員の方やフェス担当の皆様を中心に長い時間をかけて準備をしていただきました。本当にありがとうございました。

今年もお世話になりました。どうぞよいお年をお迎えください。